

# 事業所自己評価・保護者評価をうけて事業所内の分析

2020.4.30

分析担当者：都

## 事業所の特色

- スペースが広く、遊具が多い。
- 長期休みの外出などが充実している。
- 集団・個別・グループ活動のバランスがとれている。
- 地域に開かれている。
- 多様なルーツの子どもがいる。
- 比較的スタッフが若い。
- カフェスペースがある。
- 就労に向けた活動をしている。
- 入浴サービスがある。
- 夕食会などのサービスがある。
- 地域の学校との連携をもっている。
- 部屋わり、予定表等で見通しを持てるように構造化をしている。

## 保護者のニーズ

- 発達や就労の問題を解決してほしい。
- 支援時間をもっと融通してほしい。
- 長時間利用したい。
- 安心して過ごせる居場所を引き続きつってほしい。
- 学校以外での友だち関係を構築したい。
- 自立支援をお願いしたい。
- 学校からデイサービスまでの流れを大事にして、リラックスして過ごしてほしい。
- よりきめ細やかな支援をお願いしたい。
- 子どもの家庭での困りごとを解決してほしい。

## 分析をうけて改善の方向

- ◎グループでの活動が増えている一方で個人に対する個別の支援ができていない部分があった。  
→活動にメリハリをつけて、グループでの支援と個別支援のバランスをとっていく。子どもとの人間関係、信頼関係を積み重ねていき、同時にスタッフの技術をより向上させて支援を行う。
- ◎家庭の問題がある子どもとその家族支援についての対応をどうしていくか。  
→学校、家庭児童相談センター、保護者、相談支援員と連携して引き続き支援を行う。問題が起こらないように子どもと保護者との距離感を大事にして、切れ目のない支援を行っていく。
- ◎保護者のニーズにどのように応えていくか。  
→日々の困りごとや相談を受け取り、検討してPDCAサイクルを繰り返すことで保護者のニーズに対して応えていく。